
真剣で僕にも恋ください

タクシー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

真剣で僕にも恋ください

【Nコード】

N0087V

【作者名】

タクシー

【あらすじ】

これは『真剣で私に恋しなさい』の二次小説なのですが、これは作者の処女小説なので、うまく書けはしないのでお願いします。この小説の主人公はとにかく普通を目指して、普通に恋をするそんな小説です。

第一話（前書き）

あらずじにも書きましたが、この小説は作者の処女小説であり、思いつきとなど色々あるのでそれでもいいと思う人は、どうぞ読んで行って下さい

第一話

真剣で僕にも恋ください

第一話

――主人公視点――

『さあゲームをしますか――――』

???あれ?ゲームがない?いやまてなんで白いんだ?もしかこれはそうだな夢だなーフツフツ始めて夢だつて気づけたぞ、でもまてなんで夢だつて気づけたんだ?

と!?(・|・|・?こんな感じで混乱し始めるある人物そして、それを遠くで眺めて面白そうに眺めている人達が2人。2人?

――神様視点――

神様『いやまてなんでいる、そして、お前は誰だ?』

作者『いや誰で、作者だけどなんか悪い?』

神様『いや悪いとかいろんな事の前に作者がここにいちやダメじゃろつて』

作者『えーだつてなんか面白そうだしいいかなつて、それになんか物語の中に出てみたかったんだもん』

神様『いやだもんで、ダメなもんはだめなんじゃつて、これからテンプレ通りあそこにいるバカに、死んだ事とこれからテンプレ通り転生させようとしたんじゃがのー、作者がこんなところにおるんじゃ物語が進まんじゃろつ?』

作者『確かにそうだけど、んーじゃあわかったよ帰るよじゃあね、
』（・・・）ノシ（あの神の野郎これから出てこないからいい
か）

神様『お前今変な事思つとらん？？』

作者『じゃあちゃんと転生させてね、ちゃんとおわつたらあいつ落
としてあげてね、じゃーねー』

神様『やつと帰ったか、じゃあさっそく挨拶に行こうかの、んあい
つなにしとるんじゃ？まさか？寝てるじゃと？あいつは作者と同じ
ぐらいバカなのかのーまあ起こしてやるかのー』

――主人公視点――

『あれ？本当になんで夢って気づけたんだろう？にしてもなんで
真つ白なんだ？夢ならもつとなんかあつていいと思うのに例えば、
戦国無双見たいな夢とかじゃないのかー、よしここは先ず頬を抓っ
てみようかな。』自分の右頬を抓ってみる主人公、『いつてー？あ
まり痛くない？てか痛くない？それになんか感触がない？やつぱり
夢だったのかじゃあ寝ようかな？じゃあお休みー次に夢見るならこ
んなとこじゃなくて戦国無双の真田幸村の夢とか見たいなー』

そして横になり寝始める主人公、・・・五分後、

神様『おい、起きるか』

と杖で叩き始める神様。

主『ん？あと五分、五分寝かして、』

神様『こいつまだ気づいとらんのか全くバカじゃなのー』

そしてまた起こし始める神様。

主『もぐ眠いつて、後五分つて言っただじゃん母さん、ん？あれまだ白いぞ？夢の続き？』

神様『こつち向かんか馬鹿』

主『あれさつきは居なかったよな？こんな爺さん』

神様『まだ夢だと思つとんのかこの馬鹿は、ここは夢じゃないぞ、言っておくがここは現実じゃし、お主は死んでおるからの』

主『は？ここが現実で、俺が死んでる？あんた大丈夫？じゃああんたは何？もしかして神様とか？つは、馬鹿にしてんのか爺さん』

神様『馬鹿にしておるが、ワシは神様だからのー、じゃあなんかお主が今思ってる事言い当ててやろうかのー』

主（早く起きてゲームしてー）

神様『早く起きてゲームがしたいとかお主は馬鹿じゃなやつぱり』

主『マジかよ、マジで神様かよ、じゃあなんで俺死んだの？マジかよー、まだやる事色々あるのにー、なんで？なんで俺死んだの？神様ー』

神様『死因はの、お主覚えておらんのか？なら教えてやろう、お主が死んだ原因はお主が死ぬ筈だった人達を助けて、死んだからじゃよ』

主『ん？助けた？ああ思い出したー学校から帰ってる途中に子供達

に車が突っ込みそうだったからは走って庇ってそれから……』

神『そうじゃ、だかのー本当はあの事故は子供達が死ぬ筈だったんじゃないよ、その死ぬ筈だった子供達の人数は5人だから、その分5つだけ願いを叶えて転生をさせようと思つてのー』

主『転生？あれが、二次小説みたいなの？』

神『そうじゃよ、さあ好きに願いを言うがいい。』

主『マジかよ！やったー！じゃあね、一つ目はね、前の世界の家族に最期の手紙を書かせて欲しいんだけど』

神『一つ目がそれか？わかった、それで残りの願いは？』

主『二つ目はね、残った俺の家族に神様の加護とかでもいいけどさ最低限見守って欲しいんだけど、ダメ？』

神『まあいいじゃろう。』

主『後はねーやっぱりいいやなんかこんな事で叶えて貰うのも変だしね。』

神『本当にいいのか？』

主『うん、いいよ。』

神『了解した、では転生させるが、お主が行く世界は『真剣で私に恋しなさい』の世界に限りなく近い世界じゃよ。』

主『真剣で私に恋しなさい』ってなんだっけ？まあいいか、次の世界ではゲーム出来ればまあいいかな？』

神『じゃあな、お主にわしの加護があらんことを』

主『じゃあね神様』ノシ

神『では、ポチツとな。』

それと同時に主人公の足元が開き、主人公は落ちて行っ

た。神『しかしあいつは馬鹿じゃし、願いを自分のために使わんとはのー、良しワシがなんか適当に付けといてやろうかの？』
そしてそれを最後に神様は消えて行

第一話（後書き）

次回はとにかく主人公のプロフィールなどを予定しています。

主人公のプロフィール（前書き）

今回はプロフィールとだけです

主人公のプロフィール

――主人公紹介 and プロフィール――

名前

姫萩愛作

幼少期では

年齢 4 歳（精神的には + 16 歳）

身長 4 歳児の身長平均と余り変わらず

体重 まあそんなありません 所詮 4 歳児なんで

好きな物、人、事、

ヒーロー、特撮、ゲーム、

嫌いな物、人、事

主人公が思う悪いとおもった人達、逃げ出す事

性格

明るい性格ではあるが余りものを考えずにしゃべってしまう事もしばしば、ヒーローのようになりたいと思っているので、まっすぐな事が大好きであるが、今はないが自分をかえりみない事が多い。

概要

元々はただのしがない普通の高校生だったが何故か車に引かれそう

になった子供達を柄にもなく助けてしまったのでさあ大変、でもそこを見捨てなかった神様が助けた代わりに転生と主人公の知らない能力を引っさげ転生です。

身体スペック

これはまだ秘密ですが、作者も主人公も特撮好きでヒーローに憧れてるのでまあそれ関連ですがねww大体幼少期編がおわったら追加しようと思っています。

もしかしたら主人公の名前で気付いている人がいるかもしれないですが、あれはそのままですが性格は変わっているのでしょうか？

作者『やつと書き終わったー』

神『やつとか、作者よ、1話目からもう一日たってプロフィールとは少し遅いのではないか？』

作者『いや確かにプロフィールぐらいはさっさと出そうとしたんだけど、よく見直したら変な事書いてたから直している内に一日たってたんだもん、本当にすいません。』

神『まあいいがの、それはいいんじゃないが上の能力に関してはちゃんと決まっておるのか？お主の事だから決まっておらんのじゃろう？』
作者『いやちゃんと決まってるよ一つ目はね、それが物語に深く関わるからね。』

神『他は？』

作者『……まだ』

神『は？やつぱりお主馬鹿なんじゃないかのーで、どうするんじゃない？』

作者『作者には決めれない可能性があるので、ヒーローに必要そうなちよつとした能力をまだ読者いないと思うますが募集しようと思います。』

もしこれをよんでいい能力を思いついた方はどうか宜しくお願いし

ます。これは幼少期編が終わるまでは応募しますのでもしよかったです。感想などや書き間違いや訂正した方がいい部分などもありましたらよろしく願います。

主人公のプロフィール（後書き）

第二話は今日が明日には投稿出来ればとおもっています。

皆さんは特撮は好きですか？もしよろしければどんな特撮が好きが教えて頂ければ嬉しいです（＾－＾）／では

第二話――うっかりにはご注意を――（前書き）

今回はちょっと長めに書いたつもりです。

第二話――うっかりにはご注意を――

第二話

――主人公Side

皆さんこんにちは、何故か転生しました、〇〇〇〇です…。
あれ〇〇〇〇ってなんだ？名前が出てこないし思い出せない。

前世の名前が思い出せないんだがまあいい、それは本当にどうでもいい、でもだこの世界での名前は、なんと佐藤愛作だってさ…。
orz

何がなんとなのか自分自身にもわからんのだけどさあー、なんか役者の佐藤。作みたいだし、俺あの人きらいだしさがっかりですし、いやなんですよねー本当、あの人皆さんどうですかこんな名前？いやですよねー？まあ新しい名前なんで慣れないってのも有るでしょうけどねえーまあ自分の新しい名前なんで親しみが沸いてくるかもって思ったりしたんですが…全然沸きませんでした、しかしですね皆さん。

いろんな意味でやつちやいました、産まれた当初はね良かったんですよ、まあ赤ちゃんをからやり直さなきゃ生けないのは分かっていたし、赤ちゃんプレイもとにかくは、生きて行くには耐えなきゃと思っただけだしそれはなんとか耐えれましたし一年間、やっぱり赤ちゃんの成長は速いですからねー自分の事ですけど、なんか一年間ぐらいたってからね立とうとしたんですよ、まあハイハイは産まれて何故か一ヶ月ぐらいで出来たのでよかったんだけどねーそこがらが長かった、でね立てたんだよついでにね歩いちゃってねえー誰もいないと思っでものすごく喜ぶまではね良かったんだけどね、見てたんだよ母親が、母親がいる前でね今までハイハイしていた子供がいきなり歩きながらしゃべってしまった上にね、

『バク宙』しちゃったんだよねー、そして母親とね目がねーあっち

やっただよそしたらさ、母親さあーなんて言っただと思う？

母『まあー愛作ちゃんもうそんな事できるのねー、しかも喋ってたし、でもねママはね最初に喋ってもらうなら『ママ』って言うてもらいたかったのよ？だからね愛作ちゃんママにね一回でいいからママってね言ってみてほしなーって思うの。』

これだけ流石に俺は見られた時は怖がられると思ったから良かったんだけどさあー、しかもあれ以来ママって呼ばないと不機嫌になるしさあー面倒くさくてママって読んでるけどね次は父親がパパって呼べってうるさいし、呼ばないとなんかぐずるしいい大人がだよ……まあいいけど。

まあ今更だけど父親と母親改め、パパとママの名前はね、

パパは佐藤興作って言う名前です。27歳で貿易商で、容姿はまあなんか普通だけど頭がとてもしつこく昔天才って言われていたらしい。ママが佐藤愛って名前なんだって、ママは？？歳（年を聞いたらねなんか急に腹が痛くなったのでやめました）で元CAで、パパが飛行機に乗っている時にちょうどママがそこにCAとしていてそこにパパも仕事の為にいたんだと、そこでお互い一目惚れ？であれよあれよと言う間に結婚したんだってさ、まだたまに夫婦揃って惚気たりするし、なんか幸せな家庭って感じで最初は歯痒かったけどもう慣れたね、流石に慣れた。

さて最初に歩いてから更に半年立っただけだねこの今すんでる一軒家がどこにあり、さらに今どんな時代かわかった……でもね住んでいる場所がね川神ってとだよー……いや更にね近くにあるのがねなんか七浜って言うんだって七浜って横浜かよ？しかも川神院？なんだそりゃ？前世では日本に川神や七浜なんて地名にな……いし武術の総本山？川神院？んなもんねーよ、今はね1994年ら

しいですよ。

そういえば最近パパにあっていません、ママが言うにはベルトリアっていう欧州にある小国で貿易が新しく始まるらしく忙しいそうだよ？…あれ？ベルトリア？…あれはたしかー俺の好きなゲームだった

『Trample on “Schatten！”』かげふみのうた』っていうゲームの中にでてる架空の国だった筈なんで有るんだ？もしかしたらシャッテンの世界なわけではないし、そんな事あるわけではないしもしそうだとしても、ゲーム通りならパパは危ないかもしれないけど本編もそこまで大体は覚えてるけど詳しくは覚えてないからあれだけど俺がそこまで危険になるわけでもないしましてや主人公じゃないし大丈夫だろう。

――主人公Side――

――母親Side――

最近愛作ちゃんを見ているとなんか深く考えたりしているのよねー、でもやっぱり愛作ちゃんは私にて可愛いところあるし、興作さんに似てかつこいところもあるし将来が楽しみね、それにもう喋ったりバク宙したりしているし、もしかしたら愛作ちゃんは天才なのかしら。

でも最近興作さんが新しい取引先のベルトリアから一ヶ月帰って来ないのよねーどうでしょう？連絡はあるんだけどなんか愛作ちゃんか興作さんに会いたがつているのよねー、私も興作さんに会いたいし愛作ちゃんと一緒に見に行っちゃいましょうか？

そう言えばお隣さんの風間さんにも愛作ちゃんと同じぐらいの子供いたわねー挨拶がてら愛作ちゃんの友達になつてもらおうかしら？

――母親Side――

――主人公Side――

あの発見があつてから次の日です。

なんかママが隣の家に挨拶に行くつて言うからいまからつて行くんだけどさあーとなり　　がね風間？風魔？つて言うらしい？いやその時はあんまり眠くて聞いてらんなかったん

だよねー1歳児なめんな…まあーすいません、それでね今まで俺も挨拶に行くんだつて、ちょうど俺と同じぐらいの子供がねいるんだつてついでに風間さんにママ友になつて貰うんだつて

ママ『愛作ちゃん行くわよー』

愛作『わかったー』

さてよたよた歩いて行こうかな？

――主人公Side　　end――

――神様Side――

まあみなさんこんにちはじゃな、僕もう出番ないとおもつとったんじゃがのーしかし0000のやつありや？そうかこの世界ではあやつの名前は存在しなくて表示されないからのー、まあそこはいいんじゃないがあやつにあげる一つ目はあれじゃから今はいいとして二つ目何にしようかのー？まああやつには幸せになつて欲しいからのーよし限界のない身体能力と黄金律どっちがいいかのー？まあどっちもつければいいかの？良しではあやつに送るかの、ついでにこの事も手紙で知らせてやるかの、あやつは今川神にいるからの、座標指定して、では来れで転送つと…あれ？身体能力は行つたようじゃが黄金律が隣りの子供に行つたようじゃがまあいいか、さて手紙つと送つて終わりじゃな

――神Side　　end――

――主人公Side――

着きましたね、隣の風間家に、しかしねやっぱり予想していた通り隣りの子も1才だからねしゃべれないからいいんだけどね今隣りにいる翔一君と一緒に積み木やってるんだけどねいきなり全身がね痛くなつたし、それに翔一君もなんか痛そうに泣き始めたんだよねーどうしよう？でも俺も体が痛くて動けないしどうしよう？

ママ呼ぼうにも体動かないしどうしよう？

――主人公Side end――

昨日考えた通り隣りの風間さんの御宅に来ました、そして風間さんの奥さんと世間話をしていると奥から泣き声が聞こえてくるのよ。どうしたのかしら？

愛作ちゃんは泣いていないけど、隣の風間さんの子供さん翔一君が泣いているのよ、ケンカでもしたのかしら？

ママ『愛作ちゃん何にあつたの？』

愛作『なんか急に体が痛くなって、翔一君も泣き出した。』

愛作『翔一ちゃんと遊んでいたら急に体が痛くなって、翔一君もいきなり泣き出したの。』

ママ『本当に？ママはそんなこと思ってないけど、愛作ちゃんが泣かしたんじゃないの？』

愛作『本当にいきなりなきだしたんだよ僕なにもしてないよー』

ママ『本当に何もしてないの？それに愛作ちゃんは体が痛いってどうしたの？』

愛作「なんか急に体が動かなくなって今は少し動けるけど、あんまり動けないんだ」

ママ「すいません風間さん、愛作を一回病院に連れていきますので、帰ります、すいません。」

風間母「いいえ、それにママ友になってくれてうれしかったのよ、また愛作ちゃんも連れてらっしゃい、翔一の友達になってやってよそれに、翔一は大丈夫だから。ほら翔一もあいさつして。」

翔一「ばアーばアー」

——母親Side end——

——主人公Side——

あれから病院へいった結果異常はなく、逆になんか前より体が軽いかも思っているときに、いつも遊ぶ人形になんか手紙がありそれお読むと、

「拝啓〇〇〇〇よ、元気にやっておるかのー、わしはすごぶる元気じゃぞ、お主は転生する時に能力を望まなかったがワシが勝手につけたからの。」

お主にやった能力じゃがのー一つ目はまだ秘密じゃがの、二つ目は努力すればどこまでも強くなれる体との、F a t e ってゲームあったじゃああれに出てくる某慢心王いたじゃろうあれの「黄金律」あれつけようとしてのー、体の方はお主にインストールできたんじゃが、「黄金律」の方はの隣にいた坊主にいつてしまったからすまんの。

これでお主とは関わりが無くなるわけじゃがこの世界では幸せになつてくれんとワシが困るからの絶対幸せになるのじゃぞ。」

P S ・それとのこの世界は「真剣で私に恋しなさい」が基本で「か

げふみのうた」の世界が少し混ざった世界だからの忘れちゃいかんぞ。

だってさ、だからあの時翔一君も痛がってたのかまあしかしここがゲームの世界なのかまあなんとなくわかってたけどさあこれからどうしよ！。

——主人公Side end——

第二話――うっかりにはご注意ください――（後書き）

これでやっと

「真剣で僕にも恋ください」の始まりです。

そしてまたもや更新が遅れました、すいません今度から気おつけます。

次の話ではいろいろと動きます

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0087v/>

真剣で僕にも恋ください

2011年10月9日12時09分発行